

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
越前市	白崎町・塚原町	令和2年2月	平成29年3月

集落座談会: 令和元年12月19日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	65.6 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	41.0 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	2.0 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.8 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.0 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>人の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件が不利な農地は、担い手に受けてもらえない。 ・高齢化している。 <p>農地の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地が増えている。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

現在の経営体には、引き続き耕作してもらおう。
春日野町の法人A、白崎町の認定農業者Dの2名を新たな中心経営体と位置づけ、今後耕作を依頼していく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向			備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	
認農	認定農業者A	水稲、麦	10.7 ha	水稲、麦	10.7 ha		
認農	認定農業者B	水稲、野菜	6.1 ha	水稲、野菜	6.1 ha		
認農	認定農業者C	水稲	2.0 ha	水稲	2.0 ha		
法	法人A	水稲	6.6 ha	水稲	6.6 ha		R2.2新規追加
認農	認定農業者D	水稲	5.3 ha	水稲	5.3 ha		R2.2新規追加
計	5人		30.8 ha		30.8 ha		

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>高付加価値化について 今後も特別栽培米やそばの生産を行い、農産物の高付加価値化を進めていく。</p>
<p>若手担い手について 農業に対して少しでも興味を持ってもらうために鳥獣害対策作業での草刈りやワイヤーメッシュの点検・補修を地域の若手に声掛けを行い、農業でのコミュニケーションを図る。</p>